



# 人権啓発コーナー

## 部落差別のない社会を実現するために

県内の部落差別をめぐる現状は、今もなお悪質な差別落書きや差別張り紙、土地購入に際しての市町村窓口への同和地区の有無の問い合わせ、企業が市町村へ進出する交渉の中で部落差別発言など許されない行為が発生しています。さらに、SNSやインターネット上で差別情報が掲載されるといった問題も発生しています。

③結婚や就職に際して、その人やその親族が同和地区に住んでいるか、住んでいかにについて調査を依頼してはいけない。

④同和地区に住んでいることまたは住んでいたことを理由として、結婚および就職に際しての差別事象の発生につながるおそれのある行為をしてはいけない。

私たち一人ひとりが、部落差別について正しく理解するとともに、自分の問題として捉え、具体的な行動につなげていきましょう。

部落差別は、居住地や出身地を理由に差別され、全ての国民に保障されている基本的な人権が完全に保障されていないという重大な人権問題です。

「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」には、県民や事業所へ次のような規定をしています。

- 県民及び事業者の責務**
- ①同和地区の所在が書いてある図書や地図などの提供をしてはいけない。
  - ②同和地区であるか否かを他者に教えたり広めたりしてはいけない。

### お知らせ

「子どもの人権」をテーマにした人権啓発動画を上映します。

◇日時 6月10日(金)  
13時30分～(40分間)

◇場所 文化センター

問 生涯学習課 ☎52-5860



## 地域おこし協力隊 活動レポート⑱



▲Instagram



▲小学校の新1年生に、規格外蓮根で作った「れんこんキーホルダー」を贈呈しました。竜北東小の入学式後に行われた贈呈式では新聞やテレビに取材され、とても緊張しました。



▲氷川町産の食材を使ってカップちらし寿司、マリネ、イチゴ大福を作りました。もち粉を使ったイチゴ大福は、調理方法を工夫して食べ応えのあるものができました。



▲料理教室は、保護者同伴であれば小学生も参加できます。みなさんのご参加をお待ちしています。

### 料理教室～栄養素と効能が素晴らしい氷川町産大葉料理～

◇日時 6月25日(土) 午前の部 10時、午後の部 13時30分 (各定員10人)

◇場所 氷川町公民館 調理室 ◇費用 500円(当日徴収)

◇申込期限 6月16日(木)まで ◇持参物 エプロン、三角巾、マスク、タオル、保冷バッグ

◇申込先 地域おこし協力隊(農業振興課内) ☎52-5854

## 町民文芸

・毎月5日までに投稿してください。(投稿先:〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課 企画係 ☎52-5850)

### 短歌

青しだれ真つ赤なノムラ赤しだれ  
五本のもみじのどかな風は情  
西上宮 村内 一誠

見はるかす竜北平野に初夏の風  
野辺ゆく人の脚の軽さよ  
北野津 井田 道寛

秋植への丸丸太き玉ねぎを  
求ねて吊るす夏も近づく  
西野津 古崎 スエノ

絵手紙の愛されしバラの鮮む咲  
く生花に見ゆる花の艶  
西野津 古崎 栄子

病院の待合室はマスクした  
人で満席静まり返る  
吉本 高橋 澄子

### 俳句

百本の万両あちこち庭染める  
西上宮 村内 一誠

夏霧や奥に氷川の水の音  
北野津 井田 道寛

計画を立てて取り消すコロナ夏  
西野津 古崎 スエノ

好きな服衣替之近し春惜しむ  
西野津 古崎 栄子

しゆる竹の優しく迎う医院かな  
吉本 高橋 澄子



## 八火図書館だより

季節は6月に入り、これから雨の多い時期になります。この時期は室内で過ごす時間も増えますね。この機会に、ゆつくりと読書を楽しまれてはいかがでしょうか？

6月もたくさんのお新刊図書を入荷する予定です。まずは1冊手に取って読書してみませんか？

### 新しい本のお知らせ

一般書	児童書
いえ 小野寺 史宜	石ころのスープ ジュディス・マリカ・リバーマン
漆花ひとつ 澤田 瞳子	クロバエ ふくだ いわお
奇跡 林 真理子	いいな「じぶん」! くるのき しげのり
ミッドナイト・ライブラリー マット・ハイグ	いっこでも にくまん ふじもと のりこ

### 図書館利用カードはお持ちですか？

図書の貸し出しには「図書館利用カード」が必要です。保険証や学生証などの身分証明書を準備して、八火図書館または歴史資料館のスタッフにお声かけください。カード作成は初回のみ無料です。

### 新着図書おすすめ図書

いえ

小野寺 史宜

「ひと」、「まち」に続く感動作の第3弾。家族と、友と、やりきれない想いの行き先を探る物語。タイトルは「いえ」だが、やはり人を描いている小説です。最後の4行に泣かされます。

小野寺史宜



問 八火図書館 ☎62-3489

### 「雪国」VS「山の音」

法道寺 本田 花風

「眠れる美女」「古都」「千羽鶴」等いずれも官能的な美文と言葉の濃密さが作品に散りばめられている。日本語の美しさをもっとも際立たせる達人でしょう。物語の構成力という点ではすごい作家もいるだろうが、こと文章となると宝石のようにキラキラきらめく文章となると川端は別格と言われている。

今日は、平成三十一年一月三日。この日の朝日新聞、六十八年ノーベル文学賞選考の過程についての記事。全てを記述するのは長すぎるので一部を編集する。

選考過程は一切非公開、五十年が過ぎて情報開示された。川端が受賞した詳細な経緯を紹介する。

これまでに川端受賞の関係記事は記しているが、新たなニュースである。発表時の受賞理由は「日本人の心の精神をもって表現するその記述の巧みさ」六十八年は、三島も西脇(詩人)も候補の中であったが、三島は「今後の伸びによって再検討されるだろう」とされた。

川端が候補に初めてあがったのは六十二年、当時は翻訳本が少なく、アカデミーは「現在手に入る翻訳があまりに少なく、判断することができない」と授賞を見送っていた。